



新年のご挨拶

一般社団法人 日本自動車会議所

会長 内山田 竹志

年頭に当たり、一言ご挨拶を申し上げます。

旧年中は格別のご厚情を賜り、誠にありがとうございました。私は昨年6月、小枝至前会長（現名誉会長）からバトンを受け、日本自動車会議所の第13代会長に就任いたしました。クルマ社会の健全な発展を通じて日本経済の繁栄に微力ながら貢献したいとの思いで、活動に取り組んでおります。

さて、昨年10月の総選挙での自民党の大勝で、自民・公明両党による安定した政権基盤が継続し、日本経済の再生を期したアベノミクスも、生産性向上を目指す第2ステージに本格突入します。国内景気は米国を初めとする世界経済の成長も背景に、穏やかながら回復基調が継続し年末で61カ月の長さとなり、過去最長の73カ月を抜くのも确实との見方も定着してきました。

しかし、国内の自動車市場に目を転じますと、厳しい環境にさらされているのが現実です。2017年の新車販売は、2年ぶりの500万台超えを達成できる見通しですが、ピーク時に比べて280万台近くも減っております。日本の自動車産業は、全就業人口の1割を占め、輸出総額においても、また全製造業の製造品出荷額においても、2割を占めるすそ野が広い基幹産業です。自動車産業がこれからも日本経済をリードし、地域経済や雇用を維持していくためにも、安倍政権にはさらなる成長戦略を大胆に推進いただき、自動車業界としても、コンプライアンスの再徹底はもちろん、それぞれの分野で社会的使命を果たすべく不断の努力を鋭意継続してまいりたいと存じます。

本年は、税制改正の「勝負の年」です。「平成31年度までに、自動車の保有に係る税負担軽減に関し総合的な検討を行い、必要な措置を講ずる」と明記された大綱を踏まえ、長年の悲願である自動車税の税率引き下げを核とする抜本的見直しの実現に向けて、業界を挙げて一致団結して取り組んでまいります。

JAFをはじめ会議所など自動車関係21団体で構成する「自動車税制改革フォーラム」では、昨年年間を通して「ユーザーの声収集活動」を全国で展開し、過重な税負担に対する多数の切実な訴えを直に聞かせていただきました。また、昨秋開催された東京モーターシ

ヨーは、当初、台風直撃の影響も心配されましたが、約80万人もの多くのクルマファンにご来場いただくことができました。悪天候下、長い列を作って並ばれる姿には感動すら覚え、力をいただきました。加えて、来場者の4人に1人が女性、半数が30歳代以下という今後が楽しみな層が大きく増え、私どものあと一步の工夫、努力、そして税制面でのアシストにより、さらに多くのお客さまにクルマファンになっていただけると確信できた次第です。

去年は、自動運転が広く社会の注目を集めた年でした。会議所も自動運転をテーマにした講演会を年間でシリーズ化して開催しましたが、毎回定員を大幅に上回るご参加に大きな盛り上がりを感じました。自動運転、電動化、コネクテッドなど最新技術の融合により、クルマが変貌を遂げていくことは確実に、電気自動車・燃料電池自動車などの次世代自動車の普及の加速化も、国際的な環境規制の強化を受けて目前です。「新たなクルマ社会のショーケース」となる2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて、日本の自動車業界は大きく進化してまいります。

会議所は、このような大きな変革期の中、自動車関係の総合団体として期待される役割を着実に果たすべく、今年も前述の「税制」に、「環境」「安全」「人材」を加えた4本柱を軸に事業を進めてまいります。

「クルマ好き」キッズ・若者の育みと、自動車産業の魅力のPR強化を目的に、昨年全面リニューアルしたホームページについては、全国各地のイベントなど、毎月100件に及ぶ業界を網羅した情報をタイムリーにアップしていますが、皆さまにご協力もお願いしながら、一層の認知浸透、活用促進に努めてまいります。また、情報の受発信拠点である「日本自動車会館」において、人気の「親子キッズエンジニア」を自動車技術会と連携して3月に東京で初開催できる運びとなりました。

15年ぶりに実現できた、自賠責保険料積立金の繰り戻し継続の働きかけについても一層の注力が必要ですし、3年越しの懸案であった中小整備専業者支援もスタートします。政府の「働き方改革」を受け、会議所も「活力ある職場づくり」研究会を立ち上げましたが、研修会の機会などを通じて成果を発表してまいりたいと考えております。

皆さまそれぞれの事業を「縦糸」とするなら、会議所の機能は「横糸」です。「糸から布に」、そういう思いで今年も役割を担ってまいりますので、倍旧のご支援とご指導をいただきますよう、どうぞよろしくごお願い申し上げます。

最後になりましたが、この1年の皆さまますますのご繁栄とご活躍をお祈り申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。